

## 看護師のための認知症ケア講座 開催のご案内

### 《認知症ケア加算2該当研修》

#### 後援 埼玉県医師会

2025年には、認知症高齢者は約700万人に上ると言われ、実に65歳以上の5人に1人が認知症を持つと言われていています。認知症は誰もが身近な病気であり、超高齢社会を迎えた日本では、医療・介護の従事者は全員、認知症ケアのプロであることが求められるようになるでしょう。このような背景から、今般の平成28年診療報酬改定では認知症ケア加算が新設され、医療保険でも身体拘束廃止に向けての取り組みがようやく本格的に進められようとしています。認知症は、医療関係者のみでなく地域としても対応しなければならないものですが、その要となるのは看護師の皆様です。本講座では、認知症を知り、認知症をもつ人と向き合い、多職種チームでよりよいケアを提供できるよう、看護師の皆様に焦点を絞った研修を行います。

埼玉県内の施設間において県民へ質の高い医療・看護・介護を厚く提供するという当協会の主旨に沿い、認知症に向き合うプロを目指す皆様のご参加をお願い致します。

#### ◆ 開催概要

- (1) 日程 平成28年8月26日(金)・27日(土)
- (2) 会場 **【希望多数により増席・会場変更いたしました】**  
JA 共済埼玉ビル 3階 第1会議室(8/26) 第3会議室(8/27)  
⇒2日目の会場が変わります。ご注意ください。  
埼玉県さいたま市大宮区土手町1-2 TEL 048-644-2271  
<http://www.ja-kyosai-saitamabuil.co.jp/access.html>  
(JR大宮駅東口より徒歩約13分)
- (3) 定員 看護師120名
- (4) 参加費 会員12,000円、非会員20,000円(2日目の昼食を含む)
- (5) 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。追って連絡担当者様宛に参加案内・参加費請求書などをお送りいたします。
- (6) 締切日 平成28年6月17日(金)(定員に達し次第締め切りとさせていただきます)
- (7) 連絡先 〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保2197 富家病院内  
埼玉県慢性期医療協会事務局 TEL049-264-8811 Fax049-266-2287

※ 本研修は診療報酬上の「認知症ケア加算2」の加算要件に該当します。

※ 本研修を2日間通して参加された方は、当協会より修了証を発行いたします。  
(遅刻・早退・中抜けなどがある場合は修了証を発行いたしかねます。)

## ◆ プログラム

《1日目》 8月26日（金） JA 共済埼玉ビル 3階 第1会議室

13:55~14:00	開講挨拶
14:00~15:30	<b>認知症の原因疾患と病態・治療</b> ＊講師：熊谷頼佳（医療法人社団京浜会京浜病院 理事長） 看護師も医師とともに、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。
15:30~15:40	休憩
15:40~18:10 うち講義 60分 演習 80分	<b>入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術</b> ＊講師：小泉則子（医療法人社団永生会 永生病院 認知症認定看護師・主任） 認知症の人に適切な看護を提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにケアプランを立てることが必要であろう。そのために知っておかなければならないこと、見落としはならないことは何かを考えよう。 （演習）認知症のある患者の実際の様子をビデオを用いて数症例提示し、症例のアセスメントを提示し、その患者に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える。

《2日目》 8月27日（土） JA 共済埼玉ビル 3階 第3会議室

9:30~11:00	<b>認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援</b> ＊講師：田中圭一（医療法人笠松会 有吉病院 理事長） 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思 確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。
11:00~11:10	休憩
11:10~13:30 講義 60分 演習 80分	<b>行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法</b> ＊講師：富家隆樹（医療法人社団富家会 富家病院 理事長） 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄等であろう。しかし、それは認知症の人にとっての問題ではなく、周囲にとって大きな問題であるのかもしれない。ケアのレベルアップによって、これらの問題はどうか変わっていくのかを考えよう。 （演習）参加者各自がBPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションをとおして考える。
13:30~14:00	昼食
14:00~16:30 うち講義 30分 演習 80分 まとめ 30分	<b>コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法</b> ＊講師：小泉則子（医療法人社団永生会 永生病院 認知症認定看護師・主任） どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。その人が暮らしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境を整え、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 （演習）重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションのとり方、医療チームでの対応の仕方などをディスカッションをとおして考える。
16:30	閉講